

分類		要旨	意見	市の考え
協議会運営	検討主体	1 女性委員を加える	協議会に女性委員を加える必要があると思います。男性委員だけで議論をしていると、重要な視点が欠落してしまうのではないかと不安です。	【協議会事務局(企画政策課)】 商工関連団体、自治会などの代表者の方にお声掛けしたところ、現在のような委員構成となっておりますが、重要なご示唆であると考えます。 今後の議論の展開にあわせた委員の増員は想定していたところですので、女性委員に参画いただくべきという点も含めまして、協議会にて新委員のご推薦、その他検討体制について随時ご意見をいただければ対応してまいります。
		2 市民を巻き込む	緑地の維持管理には、市民の手を借りることが不可欠だと思います。そのためには計画段階から、より多くの市民が関わることでできる機会を作っていく必要があると思います。イベントに加えて、シンポジウム、勉強会、ニュースの発行、アンケート等々。	【協議会事務局(企画政策課)】 維持管理は事業占有者の負担によることも想定に含めてはありますが、にぎわい創出のための河川空間の利用には「地域の合意(ポジティブな承認)」が必要だと考えます。 協議会での議論にあわせて、アンケートやワークショップとしてどのような内容が必要かご意見をいただきましたら、対応させていただきたいと考えております。 また、当地河川空間の利用形態・利用頻度・運営体制・周辺環境への影響などが具体化され、多くの方からご意見をいただきやすい案が形成された段階では、パブリックコメント、地域説明会のような対応をしたいと考えております。

分類		要旨	意見	市の考え
協議会運営	検討範囲	3 「かわまち協議会」と「三郷駅南口交通環境改善プロジェクト」との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・現在同時並行的に「①かわまち協議会」と「②三郷駅南口交通環境改善プロジェクト」が活動している。目的からみると②は①に包含されるが、現状は別プロジェクトとして活動しているように見える。 ・市道5078号線に関する議論も各々で活発に議論されている。議論やアイデアの共有を図り、同じ方向でインフラ整備を考える 	<p>【まちづくり事業課】</p> <p>「②三郷駅南口交通環境改善プロジェクト」については、三郷駅南口周辺における(一方通行道路の解消というご意見に端を発し、)道路交通環境の改善を目的としているプロジェクトになります。</p> <p>「①かわまち協議会」におけるにぎわいの創出や魅力づくりという目的と大きな視点では合致するところであるため、ご意見のとおり内容の共有を図ってまいります。</p>
		4 「かわまち」のうち「まち」もどのようなカタチにするのかを具体化する	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は「かわ」を中心とした議論に終始したが、令和5年度は「まち」についても活発な議論を行い、カタチを具体化する 	<p>【商工観光課】</p> <p>サイクリングロードを利用するサイクリストに対して、「まち」においてサポート(休憩・食事・自転車整備等)できるよう、今年度から「まち」に立ち寄るための環境整備を行います。</p> <p>【都市デザイン課】</p> <p>三郷駅周辺については、都市計画マスタープランにおいて地域の核となる「地域拠点」としての位置づけとにぎわいの創出などを目的とした「レクリエーション核」の位置づけがあります。</p> <p>かわまちづくり協議会では、今後も江戸川の河川敷や放水路など三郷市に存する「かわ」のポテンシャルを活かし、にぎわいの創出や魅力づくりを行うことで「地域拠点」「レクリエーション核」の具体化を目指したいと考えております。</p> <p>また、三郷駅南口交通環境改善プロジェクトと情報を共有することでさらなるまちづくりの具体化を検討したいと考えております。</p>

分類	要旨	意見	市の考え	
協議会運営	議論を進める手法・論点・期間等	5 現地で考える	対象地区を委員同士で意見交換しながら歩く機会を作ってほしいです。さらにその後、ワークショップを行い意見をまとめて発表する、というような機会も必要だと思います。現地で、またもう少し打ち解けた雰囲気、委員同士で語り合うことが問題意識を共有するには有効だと思います。	【協議会事務局(企画政策課)】 協議会運営にあたりまして、問題意識の共有が図られるよう配慮してまいります。手法としてご提案いただいた現地踏査・ワークショップなども実施を検討します。
		6 本協議会の位置付けについて	本協議会の開催初日にガイダンス的に説明がありましたので、国交省宛に事業計画の申請を出すところまでは、理解していたつもりでしたが、議論を進めていくうちに何か曖昧になってしまいました。	【協議会事務局(企画政策課)】 かわまちづくり計画の申請を念頭に検討をスタートさせた経緯がありますが、活用する制度を限定せず、改めて、当地ににぎわいを生むための河川空間の利用について具体化する議論が必要かと考えております。
		7 本協議会での議論のターゲット期間に関して	例えば、4～5年後に実現可能性のある議題を提案するものであり、6年以降～10年後については、それは将来構想として、別の枠に意見・希望として分けて受けておくなど、今回の議論の目標時期が明確でなかったため、将来展望と短期(今回のターゲット?)が混同した議論になってしまったと思いました。	
		8 次年度の協議会について	今回、国交省に申請する計画の実行予定時期を明確にして(もちろん、他機関との連携、予算取りなど確定しない部分があるがあくまで、計画として定める)、その中に収まる意見と、そうでない意見は意見として承り、はっきりと別の受け皿に将来構想意見としておく。すなわち、これらについては限られた時間であるので意見交換はしない。	

分類	要旨	意見	市の考え
空間利用等 アクセス関係	9 市道を安全に渡るための対策	市道5078号をまたぐ形で「立体交差」のブリッジを設けることが一番の安全対策になるかと思われる。車同士の接触事故が絶えない悪名高き市道がこれまで野放しにされてきたことが不思議であり、信号付きの横断歩道に加え、減速を促す交通標識等の設置を速やかに進めるべきであろう。「子育てしやすいまち」を標榜する三郷市であるが、それにふさわしくない施策が気になる。	【生活安全課】【道路課】 市道5078号線の道路横断における安全対策につきましては、歩行者が安全に通行できる信号の設置が有効かと思われます。信号の設置者である吉川警察署に確認したところ、今現在の土手・河川敷きの利用を考慮すると江戸川河川敷きの活性化の議論が具体的に進み、そのエリア内で利用者の賑わいが醸成した際に改めて検討する必要があるとのことでした。しかしながら、市といたしましては現状の利用者における安全対策が必要であると考えられることから、道路舗装の変化によって視覚的に注意を促すイメージランプや自動車の通行部分の幅を物理的に狭くする狭さくの設置など、利用者が安全に通行できる対策について、吉川警察などの関係機関と協議してまいります。
	10	4年度の協議会では道路横断の危険性意見が多くでて、全体像が良くイメージ出来なかった。 細かい意見などで時間が取られてと思います。地元の人たちには切実な事なのですが。 5年度では歩行者、自転車、車が安全に利用出来ることを条件として各項目を議論を進めてほしい。	
	11 インフラ整備の具体化	河川敷の利用者を拡大していくためには「人(歩行者)」「自転車」「車」の3側面から、安全で利用しやすいインフラ整備が不可欠である ① 市道5078号線を横断するインフラ整備(歩行者・自転車) ・市街地から歩いて江戸川河川敷に行くには江戸川の側道である市道5078号線を横断しなければならない。安全に横断できるインフラの整備は最も重要であり、かつ緊急性も高い。 ・自転車で食事など市街地に行こうとするサイクリストにとっても市道5078号線を安全に横断できるインフラは必要不可欠となる ② 車で河川敷に入る利便性の高いルートの整備 ・河川敷の利用者を拡大するためには、車で河川敷に入る上で、現状の制限(土日のみ)の解除は勿論であるが、利便性の高い進入ルートを整備することは重要である	【商工観光課】 ②今後、昨年度ご検討いただきました「三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針」を基本に、関係機関・部署と連携し活用について検討してまいります。 【スポーツ振興課】 ①②江戸川運動公園のアクセスでは、みさと協立病院付近は土日祝日、流山橋南側は平日と土日祝日において、年末年始と増水等で河川敷の使用不能時以外の日の4～9月は7:30～18:30、10～3月は7:30～16:30の時間帯に坂路を開放しております。日にちや時間帯等の制限解除は防犯・防災・騒音等の課題があるため慎重に検討してまいります。

分類	要旨	意見	市の考え
空間利用等	12 温暖化適応策を考慮する	地球温暖化にどう都市を適応させていくかは、これからの都市整備に不可欠な視点です。今回は会議が秋から冬にかけてであったこともあり、ほとんど話題にはならなかったですが、現状では夏場、日中、堤防に出ることは危険でならないでしょうか。木陰、日陰をこまめに配置していくなどの暑熱対策を、計画初期段階から考慮しておくべきだと思います。	<p>【スポーツ振興課】 江戸川運動公園利用者の暑熱対策では、サンシェードや小型のイベント用テントなど、簡易かつ可搬式の日除けの一時的な設置は目的外利用にならない範囲で認めております。河川敷への設置が許可される日除け施設について、事例を調査研究してまいります。</p> <p>【みどり公園課】 「みさとの風ひろば」での暑熱対策につきましては、堤防天端という立地から日陰などの設備整備には強風などへの対策を要するため、設置の可否も含め検討してまいります。</p>
	13 観光拠点としての魅力づくり	<p>県外から訪れる観光客にとって、江戸川河川敷はそもそもアクセスしやすい場所ではない。サイクリストや釣り客、野球・サッカーなどを楽しむ利用者にとっては「目的」が明確であるが、それ以外の観光客にとっては親しみを感じるような場所とはいえない。</p> <p>県外からの観光客にどうPRするのか。荒川や利根川などの河川敷にない、江戸川ならではの魅力をどう作り出すのか知恵と工夫が求められる（関東有数のサイクリングロードを抜きに考えることはできない）</p>	<p>【商工観光課】 昨年度ご検討いただきました「三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針」を基本に、実証実験等の検討も含め、実現に向け議論・検討をしてまいります。</p> <p>【スポーツ振興課】 江戸川運動公園は三郷駅から至近であるため、徒歩や自転車で公園を訪れる利用者には流山橋の取付道路で堤頂を越えるアクセス方法が広く活用されております。引き続き関係課と連携し、公園の活用方法について研究してまいります。</p>
	14 「にぎわい創出」の具体策とは	三郷市にとっての「公園的ニーズ」は、TX三郷中央駅に近い「におどり公園」などに委ねてもいいだろう。一方、危険と隣り合わせの河川敷という立地で考えると、子供の「遊び場」にはなりえないし、推奨できない。	<p>【商工観光課】 昨年度ご検討いただきました「三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針」を基本に、実証実験等の検討も含め、実現に向け議論・検討をしてまいります。</p> <p>いずれにしても、万人に受けるような総花的な施設は不要だと考える。「〇〇〇の聖地」（キャンプ、ドローン実験）といったマニアックな施設を視野に入れても面白いと思う。</p>

分類		要旨	意見	市の考え
空間 利用等	用途・ 機能 関係	15 各ゾーンの中身の具体 化	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく「デイキャンプ」「親水」「駐車場」「バーベキュー広場」「花畑」「スカイ」ゾーンに分かれているが、河川敷という特性にあった各ゾーンの中身の具体化は大事 ・そのためにも江戸川河川敷に類似する立地条件を持つ先行事例を参考に中身の具体化を図る ・市民的視点からみると、日常的に憩う場としてのゾーン「親水」「花畑」ゾーンへの期待値が高い。更にドックランや土手だけでなく散歩コースの充実も希望 	<p>【商工観光課】 昨年度ご検討いただきました「三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針」を基本に、実証実験等の検討も含め、実現に向け議論・検討をしております。</p>